

制御ノード
初期設定マニュアル
(UECS-Pi 編)



バージョン 2.0.0

【本マニュアルについて】

本マニュアルは制御ノード作成後の基本設定（ファームウェアインストール、センサ登録等）の手順を示します。また、制御ノードの利用方法（センサ値の確認、アクチュエータの動作設定等）を示します。

【対象ノード】

制御ノード

【対象ファームウェア】

UECS-Pi Uni

【前提】

制御ノードの制作が完了していること。内気象ノードを購入している場合は、内気象ノードの組み立て及び内気象ノードの基本設定が完了していることが望ましい。

【参照資料】

以下資料も合わせて参照してください。

アルsprout株式会社サイト>アーカイブ>ドキュメント

<https://www.arsprout.co.jp/archive/doc/#softwareSetup>

- ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル（UECS-Pi 編）
- 内気象ノード初期設定マニュアル（UECS-Pi 編）

【改訂履歴】

版	改訂内容	改訂日
1.0.0	・公開版作成	2019/06/10
2.0.0	・マニュアル名を「制御ノード SW 初期設定ガイド」から「制御ノード簡易マニュアル」へ変更 ・制御ノードの基本操作、ファームウェアアップデート、サポート連絡手順を追加	2019/10/17

目次

1. 制御ノード初期設定.....	4
1.1 制御ノード基本設定パッケージダウンロード	4
1.2 ファームウェアのインストール	7
1.3 ライセンスコード発行を依頼する	9
1.4 ライセンスコードを入力する	11
1.5 制御ノード基本設定パッケージをアップロード.....	11
1.5.1 該当する設定ファイルを選ぶ	12
1.5.2 該当する設定ファイルをアップロードする.....	13
1.6 使用していないセンサの設定を削除または無効にする.....	15
1.6.1 内気象ノードのセンサ類を削除または無効にする.....	15
1.6.2 日射センサまたは感雨センサを無効にする.....	17
1.6.3 簡易外気象センサ設定を無効にする.....	20
1.7 日の出、南中、日の入時刻の表示	21
1.8 ノード名称の変更.....	21
1.9 時刻の設定.....	21
1.10 設定ファイルのバックアップを取得	21
1.11 IP アドレスを変更する	22
2. 制御ノード基本操作.....	23
3. 制御ノード停止方法・起動方法	23
4. ファームウェアアップデート	25
1.12 設定ファイルのバックアップを取得	25
1.13 最新ファームウェアダウンロード	25
1.14 ファームウェアにログイン.....	25
1.15 ファームウェアを停止して、ノードの電源を OFF にする	26
1.16 SD カード取り出し.....	26
1.17 SD カードに最新ファームウェアをインストールする	26
1.18 SD カードを差し込みファームウェアにログイン	27
1.19 設定ファイルをアップロードして設定を復元する	27
5. サポートへの連絡	27
6. その他.....	27

1. 制御ノード初期設定

制御ノードに接続しているセンサやアクチュエータ類は、ファームウェアに登録しなければセンサ値を表示することができません。

一つずつ手動で登録するのは手間がかかります。そこで、制御ノード基本設定パッケージファイルを用意しています。この設定ファイルをファームウェアに読み込ませるとセンサ類の登録を一括で行うことができます。

1.1 制御ノード基本設定パッケージダウンロード

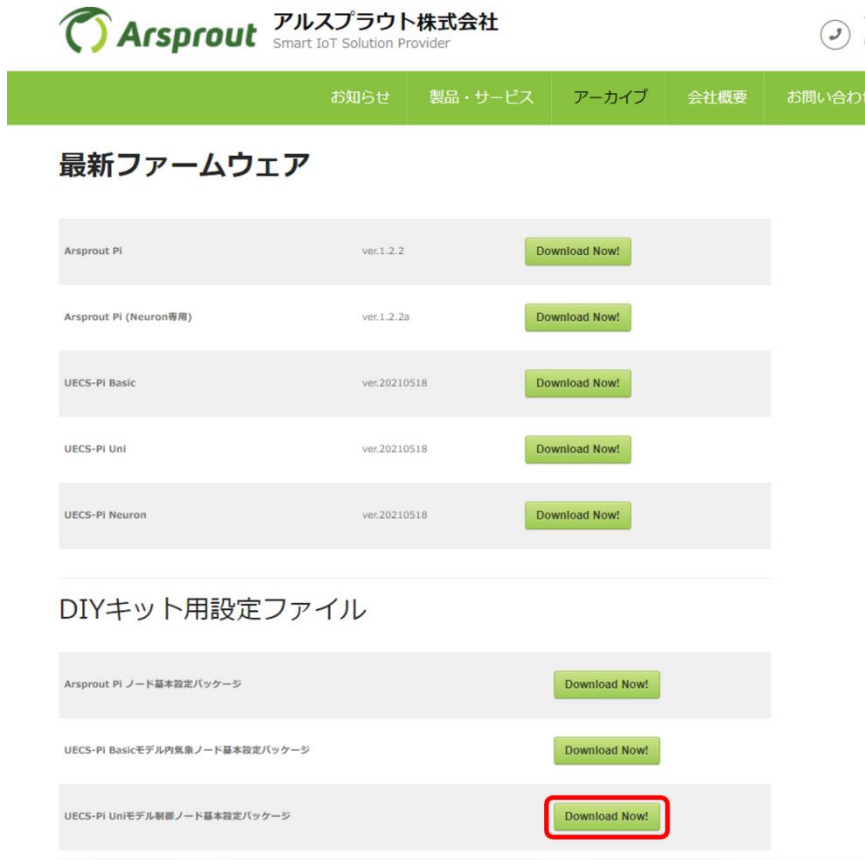
パソコンを起動し、ブラウザ（Google Chrome、Firefox、Edge など）を開きます。例えば以下のアイコンのソフトウェアです。



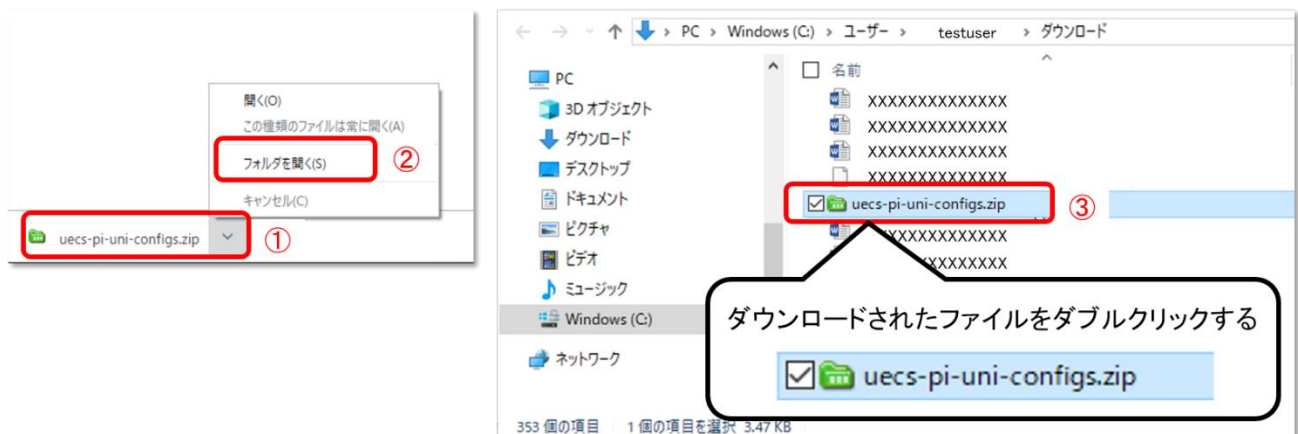
ブラウザで <https://www.arsprout.co.jp/> にアクセスして下さい。アルスプラウト株式会社のサイトが表示されます。



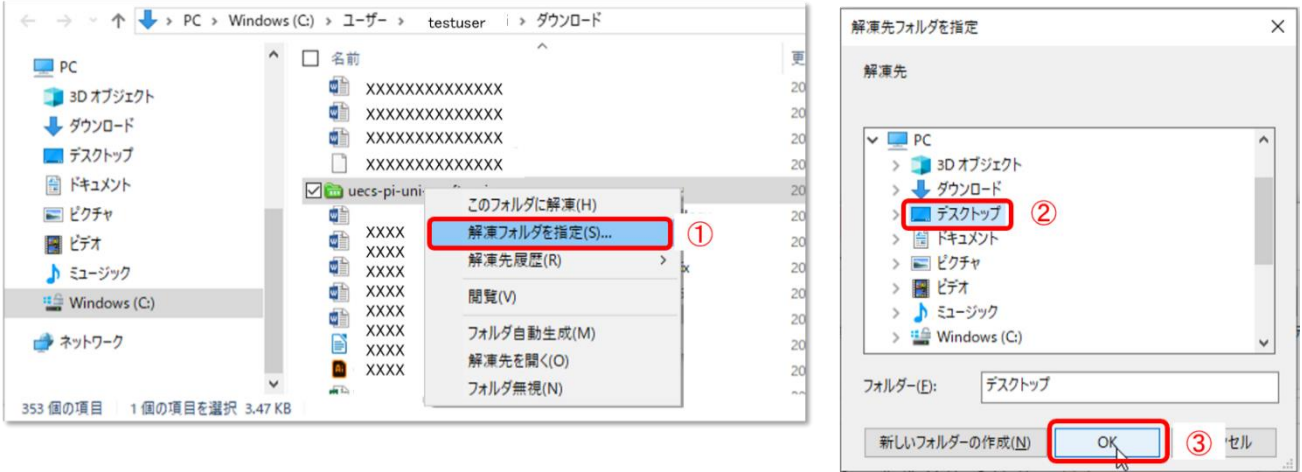
アーカイブ>最新ファームウェアに移動します。DIY キット用設定ファイルにある、「Uni モデル制御ノード基本設定ファイル」の「Download Now!」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。



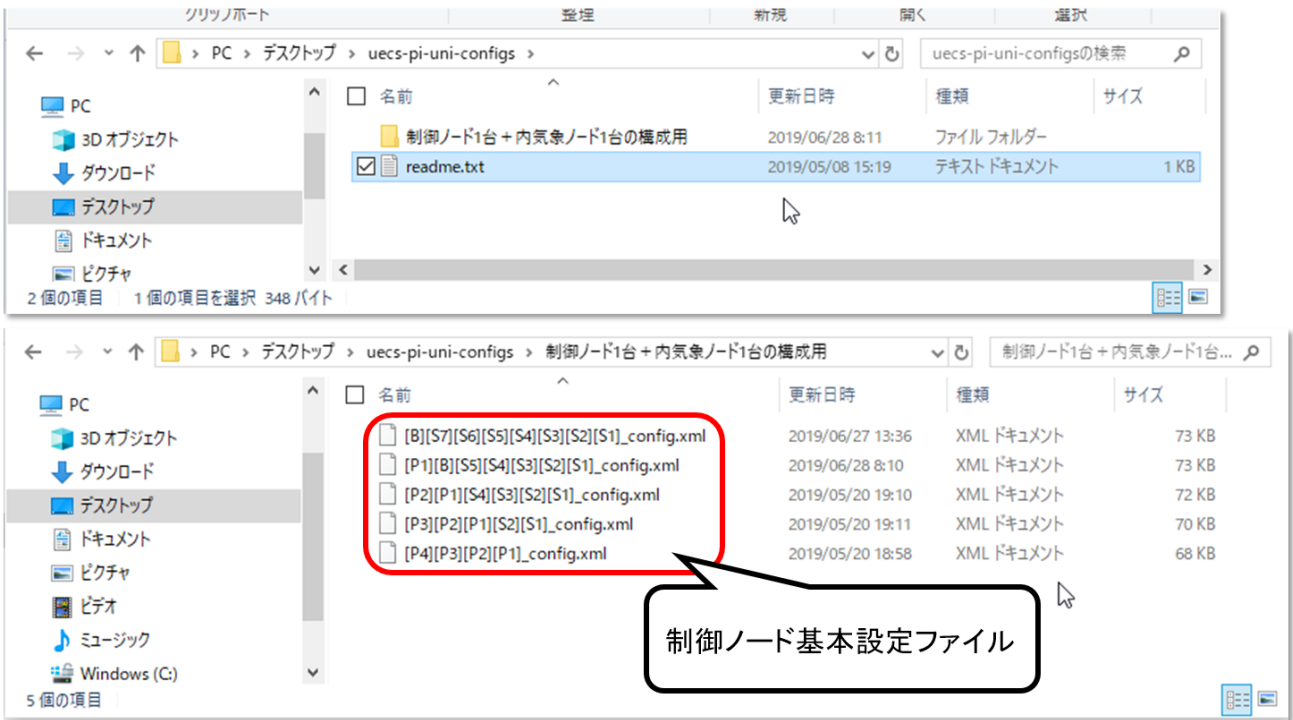
ダウンロードしたファイルはブラウザの左下に表示されます。ファイルを右クリック (①) するとメニューが表示されるので、「フォルダを開く」をクリック (②) します。ダウンロードフォルダが開くのでダウンロードされたファイルをダブルクリック (③) します。



ダブルクリックするとメニューが表示されるので「解凍フォルダを指定」をクリック (①) します。解凍先フォルダ指定ダイアログが表示されるので、適当な場所 (デスクトップ等) を選択 (②) し OK ボタンをクリック (③) します。



指定した先に readme.txt (設定ファイルの簡易説明書) と設定ファイルが入ったフォルダが解凍されます。



1.2 ファームウェアのインストール

SD カードにファームウェアをインストールしていない場合は、[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「ファームウェアインストール」を実行してください。

既に SD カードにファームウェアをインストールしている場合は、[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「SD カードをノードへ差し込む」以降を実行してください。

ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル (UECS-Pi 編) での作業が完了すると、ログイン画面が表示されます。初期パスワード「admin」を入力し、ログインボタンをクリックして、ログインして下さい。(誤操作防止の為エンターキーでのボタン操作はできないようになっています。)



トップ画面が表示されます。初期起動時はノード状態が「停止」になっています。

UECS-Pi Uni

トップ詳細モニタCCM一覧状態ログセットアップログアウト

ノード状態

IPアドレス	現在時刻	日の出	南中	日の入り	状態
192.168.1.70	2000-01-13 06:45:59 [+09:00]				停止

センサ

No.	名称	現在値	更新日時	設定
-----	----	-----	------	----

アクチュエータ

No.	名称	モード	操作	現在値	更新日時	設定
-----	----	-----	----	-----	------	----

更新 ノード再起動

Copyright (c) 2018 WaBit Inc. All rights reserved.

1.3 ライセンスコード発行を依頼する

UECS-Pi Uni を使用するにはライセンスコードが必要です。ライセンスコードは UECS-Pi Uni の MAC アドレスをサポート宛にご連絡いただければ発行いたします。(初期起動時に表示されているライセンスコードはダミーです。MAC アドレスに応じたライセンスコードが必要となります。)

メニューのセットアップ>ノード設定をクリックして、ノード設定画面に移動します。



ノード設定画面に表示されている MAC アドレスをコピーしてください。



MAC アドレスを以下フォーマットでサポート宛て (support@arsprout.co.jp) へメール送信してください。また、問い合わせフォーム (<https://www.arsprout.co.jp/inquiry/>) からでも受け付けています。ライセンスコード発行には数日かかる場合もあります。制御ノードキットをご購入いただいた方のみライセンスコード発行を承っております。ご了承ください。

アルsprout株式会社
担当者宛て

UECS-Pi Uni のライセンスコードの発行をお願い致します。
MAC アドレスは以下の通りです。

■MAC アドレス

■氏名や法人名

■メールアドレス

■電話番号

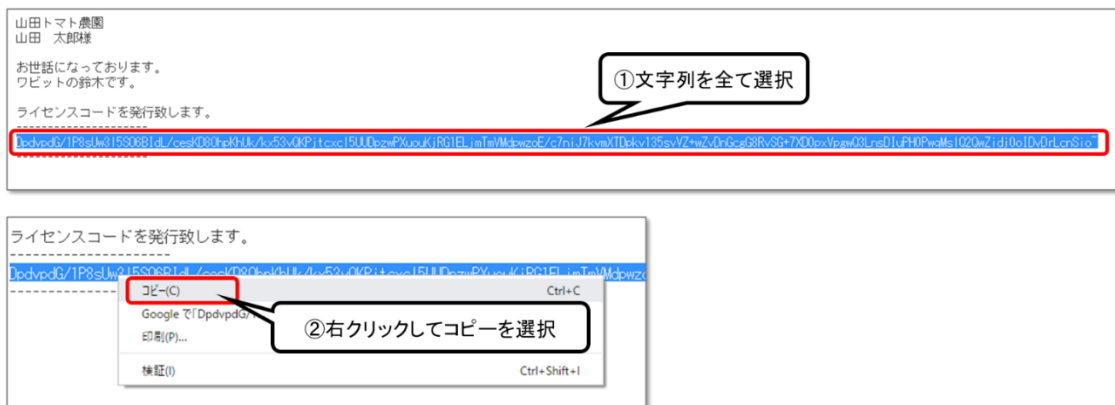
■購入元

■ArsproutDIY キット 2 制御ノード購入台数

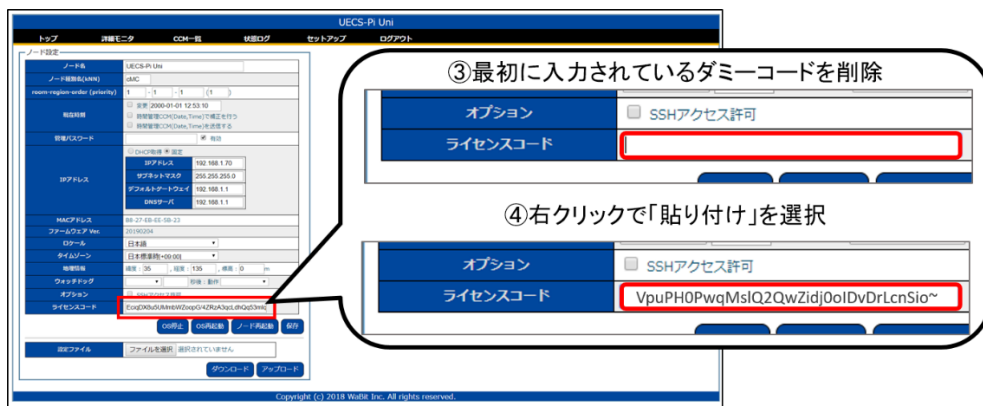
1.4 ライセンスコードを入力する

サポートからライセンス発行メールが返信されます。メールに記載されているライセンスコードをコピーしてノード設定画面のライセンスコードへ張り付けてください。ライセンスコードは長くかつ複雑な文字列なので手入力では記入ミスが発生する可能性があります。必ず「コピー」と「張り付け」で入力してください。

メールのライセンスコード文字列をすべて選択し、コピーします。



メニューのセットアップ>ノード設定をクリックして、ノード設定画面を開きます。ライセンスコード欄に初期入力されているダミーコードを削除して、コピーしたライセンスコードを貼り付けます。



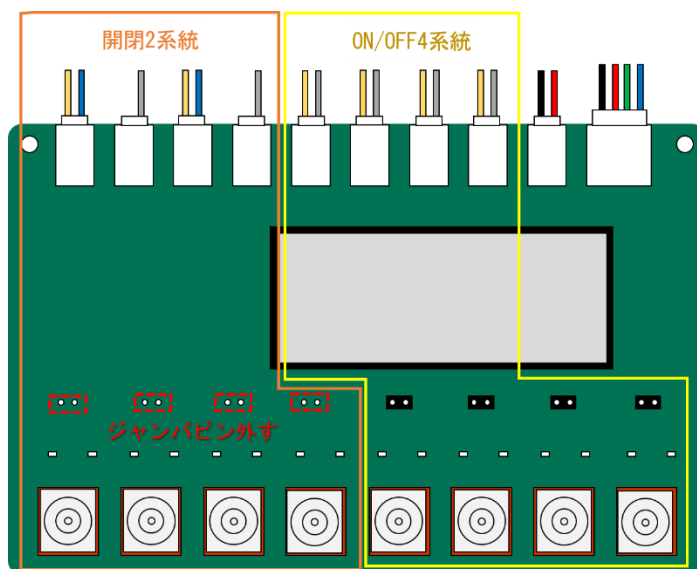
ライセンスコードを入力後、保存ボタンをクリックします。

1.5 制御ノード基本設定パッケージをアップロード

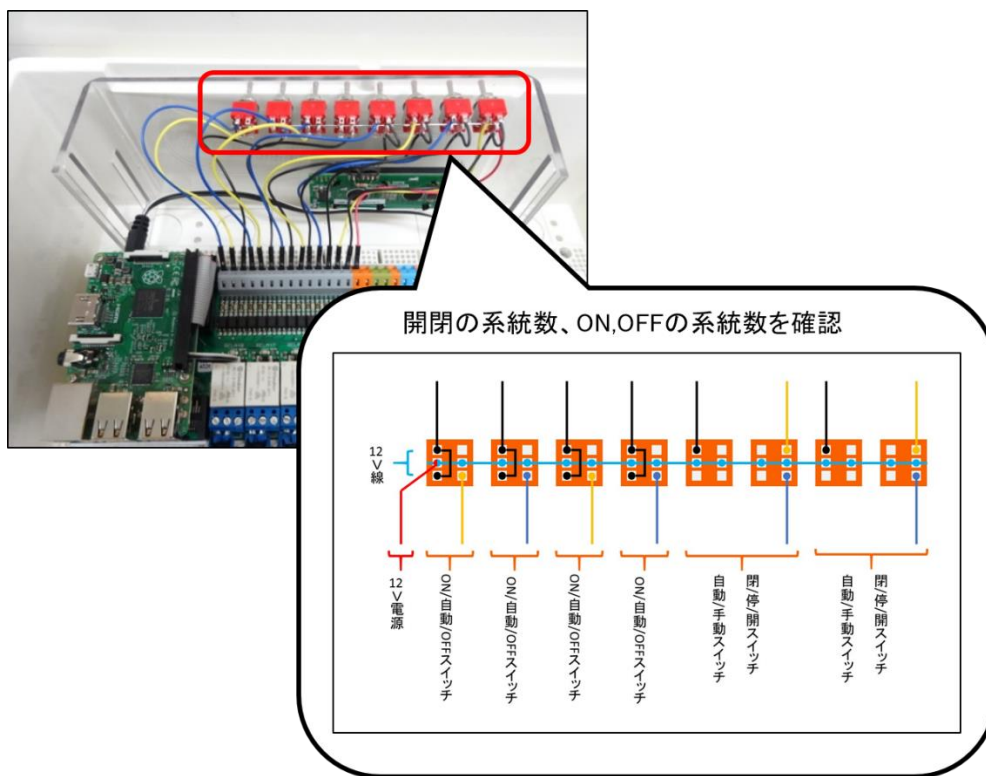
「[制御ノード基本設定パッケージダウンロード](#)」でダウンロードした設定ファイルを制御ノードへアップロードします。制御ノードの UniPi 基板カバー結線によって、使用する設定ファイルが異なります。

1.5.1 該当する設定ファイルを選ぶ

まずは制御ノードの開閉の系統数と ON,OFF の系統数を確認してください。例えば、下図の様な結線であれば開閉が2系統で ON,OFF が4系統となります。



旧制御制御ノードでは、Uni カバースイッチの結線を確認してください。



次に、「[制御ノード基本設定パッケージダウンロード](#)」でダウンロードした設定ファイルの中から、ON,OFF 系統数と開閉系統数が一致する設定ファイルを選択します。

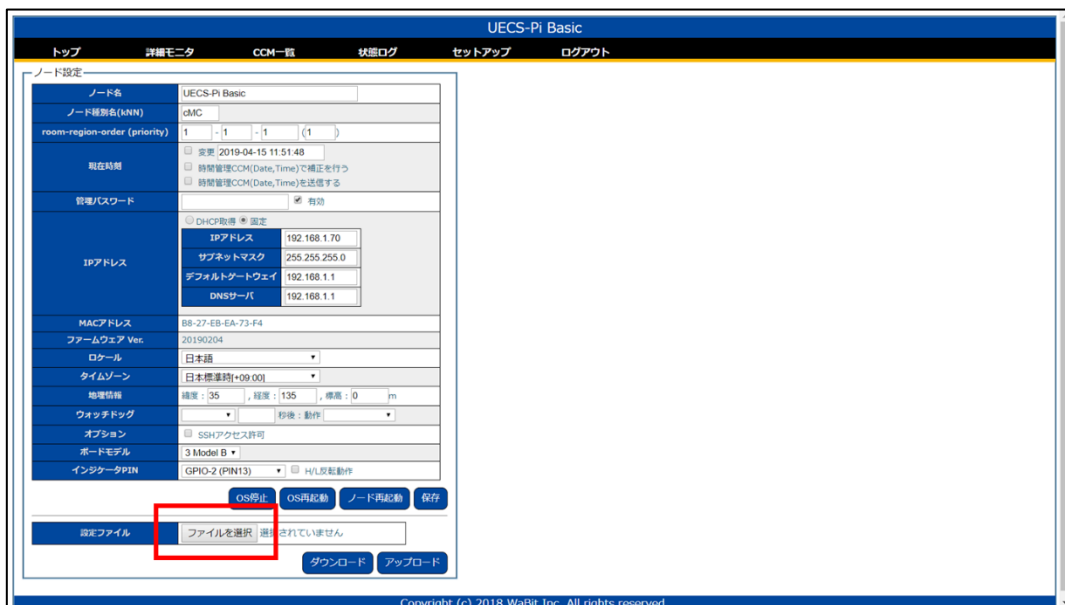
設定ファイルの名前が各系統数を表しています。開閉は Position の頭文字「P」で表しています。ON,OFF は Switch の頭文字「S」で表しています。接続していない箇所は Blank の頭文字「B」で表しています。例えば、UniPi 基板カバー結線の開閉が 2 系統かつ ON,OFF が 4 系統の場合、使用する設定ファイルは [P2][P1][S4][S3][S2][S1]_config.xml となります。

UniPi基板カバー結線と一致する設定ファイルを選択する。



1.5.2 該当する設定ファイルをアップロードする

メニューのセットアップ>ノード設定をクリックして、ノード設定画面に移動します。設定ファイルのファイル選択ボタンをクリックして、UniPi 基板カバー結線と一致する設定ファイルを選択してください。



設定ファイル選択後、アップロードボタンをクリックします。

UECS-Pi Uni

トップ 詳細モニタ CCM一覧 状態ログ セットアップ ログアウト

ノード設定

ノード名	UECS-Pi Uni		
ノード種別名(kNN)	cMC		
room-region-order (priority)	1	-1	(1)
現在時刻	<input type="checkbox"/> 変更 2000-01-01 12:53:10 <input type="checkbox"/> 時間管理CCM(Date,Time)で補正を行う <input type="checkbox"/> 時間管理CCM(Date,Time)を送信する		
管理パスワード	<input type="checkbox"/> 有効		
IPアドレス	<input type="radio"/> DHCP取得 <input checked="" type="radio"/> 固定		
	IPアドレス	192.168.1.70	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1	
	DNSサーバ	192.168.1.1	
MACアドレス	B8-27-EB-EE-5B-23		
ファームウェア Ver.	20190204		
ロケール	日本語		
タイムゾーン	日本標準時(+09:00)		
地理情報	緯度: 35	経度: 135	標高: 0 m
ウォッチドッグ	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効		
オプション	<input type="checkbox"/> SSHアクセス許可		
ライセンスコード	EciqDX8u5UMmbWZoopG/4ZRzA3qcl.dhQq53mlq		

OS停止 OS再起動 ノード再起動 保存

設定ファイル

Copyright (c) 2018 WaBit Inc. All rights reserved.

トップ画面にセンサが表示されます。

UECS-Pi Uni

トップ 詳細モニタ CCM一覧 状態ログ セットアップ ログアウト

トップ

ノード状態

IPアドレス	現在時刻	日の出	雨中	日の入り	状態
192.168.1.70	2019-05-31 12:28:55 [+09:00]	04:48	11:58	19:08	重要異常

センサ

No.	名称	現在値	更新日時	設定
1	内部気温	-- [C]	2019-05-31 12:28:38	⚙
2	内部相対湿度	-- [%]	2019-05-31 12:28:38	⚙
3	内部絶対湿度	-- [g m-3]	2019-05-31 12:28:38	⚙
4	内部露点	-- [C]	2019-05-31 12:28:38	⚙
5	内部熱差	-- [g m-3]	2019-05-31 12:28:38	⚙
6	内部土壌水分	-- [%]	2019-05-31 12:28:38	⚙
7	内部土壌湿度	-- [C]	2019-05-31 12:28:38	⚙
8	内部土壌EC	-- [ds/m]	2019-05-31 12:28:38	⚙
9	内部日射	-- [kW m-2]	2019-05-31 12:28:38	⚙
10	内装集ノードファン動作	--	2019-05-31 12:28:38	⚙
11	内部CO2	-- [ppm]	2019-05-31 12:28:38	⚙
12	外部日射	0.050 [kW m-2]	2019-05-31 12:28:48	⚙
13	感雨	1	2019-05-31 12:28:48	⚙
14	外部気温	-- [C]	--	⚙
15	外部相対湿度	-- [%]	--	⚙
16	外部絶対湿度	-- [g m-3]	--	⚙
17	外部露点	-- [C]	--	⚙
18	外部熱差	-- [g m-3]	--	⚙

1.6 使用していないセンサの設定を削除または無効にする

基本設定パッケージの設定ファイルをアップロードするとセンサが一括で登録されます。ユーザによっては、実際には接続していないセンサも含まれているかもしれません。実際には接続されていないセンサ設定は削除、または無効にします。**不要な設定が残っているとノード動作に異常をきたすこともあるので必ず実行してください。**ノードの状態は、[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#)の「ノードの状態を確認する」を参照してください。

1.6.1 内気象ノードのセンサ類を削除または無効にする

制御ノードから内気象ノードのデータを受信することができます。基本設定パッケージを使用すると、内気象ノードのデータを受信するセンサ類も一括で登録されています。不要なセンサは削除または削除してください。

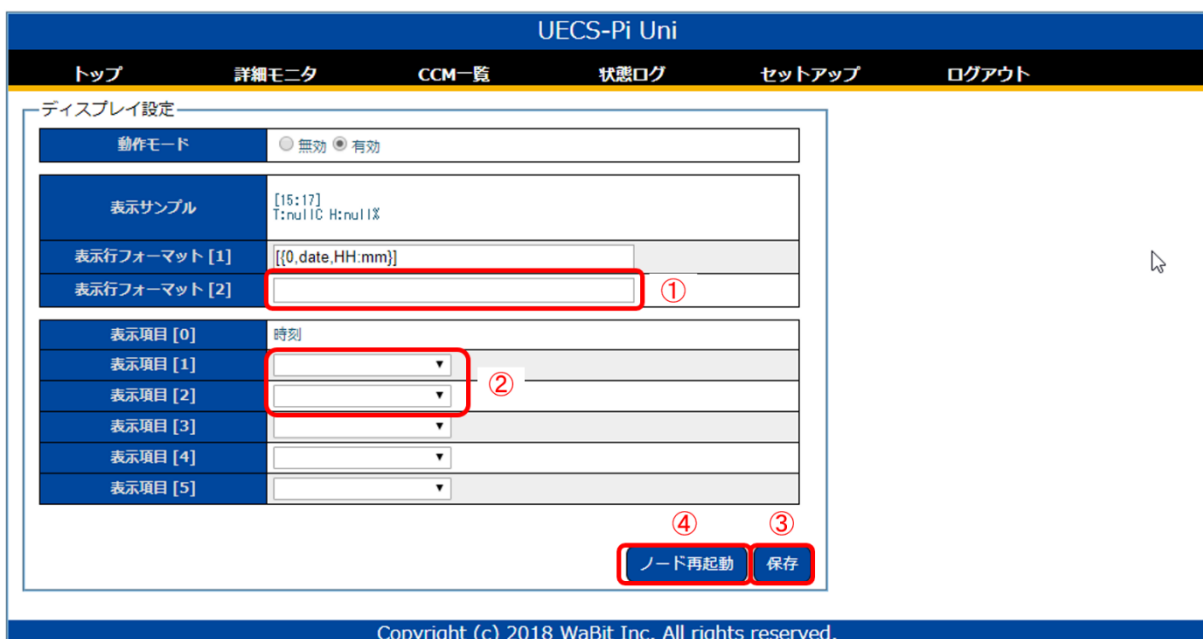
[内気象ノード初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#)の「接続していないセンサの設定を削除または無効にする」を実行してください。

※内気象ノード初期設定マニュアル (UECS-Pi 編) では UECS-Pi Basic (内気象ノード) で作業していますが、ここでは UECS-Pi Uni (制御ノード) にログインして作業してください。センサ設定画面は共通です。

内部気温を削除した場合は、ディスプレイ設定も合わせて変更します。メニューのセットアップ>ディスプレイ設定をクリックします。



ディスプレイ設定の「表示桁フォーマット[2]」(①)を空にして、「表示項目[1]」と「表示項目[2]」(②)で空欄を選択します。保存ボタンをクリック後(③)、ノード再起動ボタンをクリックします。(④)再起動完了後、設定が反映されます。



1.6.2 日射センサまたは感雨センサを無効にする

制御ノードに日射センサまたは感雨センサを接続していない場合は、各センサの設定を無効にします。
両方とも接続している場合は実行不要です。

日射センサ、感雨センサがどれかわからない場合は ArsproutDIY キット 2 制御ノード制作マニュアルの「日射センサオプションの取り付け」「感雨センサオプションの取り付け」を参照してください。

<https://www.arsprout.co.jp/archive/doc/#selfMade>

トップ画面で外部日射または感雨センサの歯車アイコンをクリックし、センサ設定画面へ移動します。

The screenshot shows the UECS-Pi Uni control interface. At the top, there are navigation tabs: トップ, 詳細モニタ, CCM一覧, 状態ログ, セットアップ, and ログアウト. Below the tabs, there are two main sections: ノード状態 and センサ.

ノード状態

IPアドレス	現在時刻	日の出	雨中	日の入り	状態
192.168.1.70	2019-09-10 15:51:32 [+09:00]	05:39	11:58	18:17	重度異常

センサ

No.	名称	現在値	更新日時	設定
1	内部気温	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
2	内部相対湿度	-- [%]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
3	内部絶対湿度	-- [g m-3]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
4	内部露点	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
5	内部結露	-- [g m-3]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
6	内部土壌水分	-- [%]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
7	内部土壌温度	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
8	内部土壌EC	-- [ds/m]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
9	内部日射	-- [kW m-2]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
10	内気象ノードファン動作	--	2019-09-04 16:09:12	⚙️
11	内部CO2	-- [ppm]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
12	外部日射	0.001 [kW m-2]	2019-09-10 15:51:32	⚙️
13	感雨	1	2019-09-10 15:51:23	⚙️
14	外部気温	-- [C]	--	⚙️
15	外部相対湿度	-- [%]	--	⚙️
16	外部絶対湿度	-- [g m-3]	--	⚙️
17	外部露点	-- [C]	--	⚙️
18	外部結露	-- [g m-3]	--	⚙️
19	風向	--	--	⚙️
20	風速	-- [m s-1]	--	⚙️
21	瞬間風速	-- [m s-1]	--	⚙️
22	雨量	-- [mm]	--	⚙️
23	外部照度	-- [lux]	--	⚙️
24	外部UV	-- [mW cm-2]	--	⚙️

外部日射センサと感雨センサはアナログセンサです。アナログセンサはチャンネル（AI1、AI2）ごとにセンサ設定が割り振られています。デフォルトでは日射センサは AI1、感雨センサは AI2 に割り振られています。

外部日射センサを接続していない場合は有効 CH の AI1 のチェックを OFF にします。

UECS-Pi Uni

トップ 詳細モニタ CCM一覧 状態ログ セットアップ ログアウト

センサ設定[アナログ]

有効CH AI1 AI2

CCM表示名(AI2) 感雨

CCM設定(AI2) 項目名(AI2): WRainfall ノード種別(AI2): cMC
送信レベル(AI2): A-10S-0 単位(AI2): 精度(AI2): 0
[room:1] -[region:41] -[order:1] (priority:1)

A/D変換設定(AI2) 値タイプ: 電圧値(V) 分解能: 18 bit ゲイン: x 1

計測設定(AI2) 計測間隔 10 秒 検出方式 瞬時値 検出時間 秒

変換式(AI2) なし 二次式 サーミスタ式
 $x^2 + -0.25 x + 1$

制限範囲(AI2) 下限(AI2): ~ 上限(AI2): 範囲外(AI2): <選択>

記録間隔(AI2) 300 秒 クラウド連携

ノード再起動 削除 保存

Copyright (c) 2018 WaBit Inc. All rights reserved.

感雨センサを接続していない場合は有効 CH の AI2 のチェックを OFF にします。

UECS-Pi Uni

トップ 詳細モニタ CCM一覧 状態ログ セットアップ ログアウト

センサ設定[アナログ]

有効CH AI1 AI2

CCM表示名(AI1) 外部日射

CCM設定(AI1) 項目名(AI1): WRadiation ノード種別(AI1): cMC
送信レベル(AI1): A-10S-0 単位(AI1): kW m-2 精度(AI1): 3
[room:1] -[region:41] -[order:1] (priority:1)

A/D変換設定(AI1) 値タイプ: 電圧値(V) 分解能: 18 bit ゲイン: x 1

計測設定(AI1) 計測間隔 10 秒 検出方式 瞬時値 検出時間 秒

変換式(AI1) なし 二次式 サーミスタ式

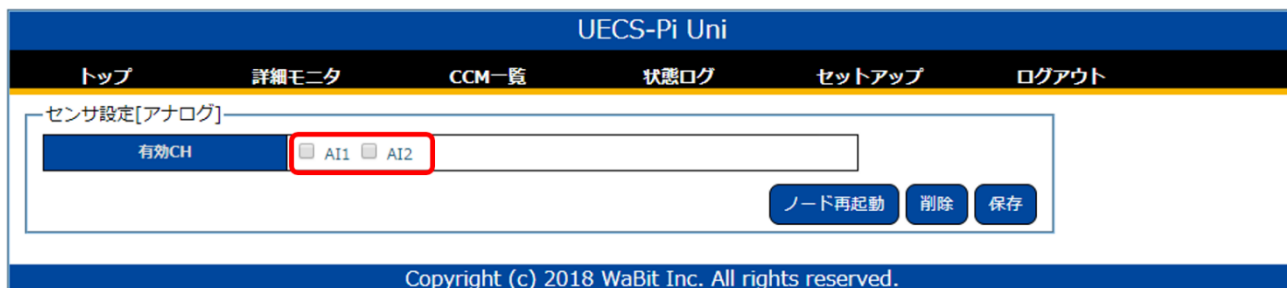
制限範囲(AI1) 下限(AI1): ~ 上限(AI1): 範囲外(AI1): <選択>

記録間隔(AI1) 300 秒 クラウド連携

ノード再起動 削除 保存

Copyright (c) 2018 WaBit Inc. All rights reserved.

外部日射センサと感雨センサの両方を接続していない場合は有効 CH の AI1、AI2 両方のチェックを OFF にします。



接続していないセンサのチャンネルを OFF にした後、保存ボタンをクリックし (①)、ノード再起動ボタンをクリック (②) します。



1.6.3 簡易外気象センサ設定を無効にする

制御ノードに簡易外気象センサを接続していない場合は、簡易外気象センサの設定を無効にします。簡易外気象センサを接続している場合は実行不要です。

簡易外気象センサがどれかわからない場合は ArsproutDIY キット 2 制御ノード制作マニュアルの「簡易外気象センサオプションの取り付け」を参照してください。

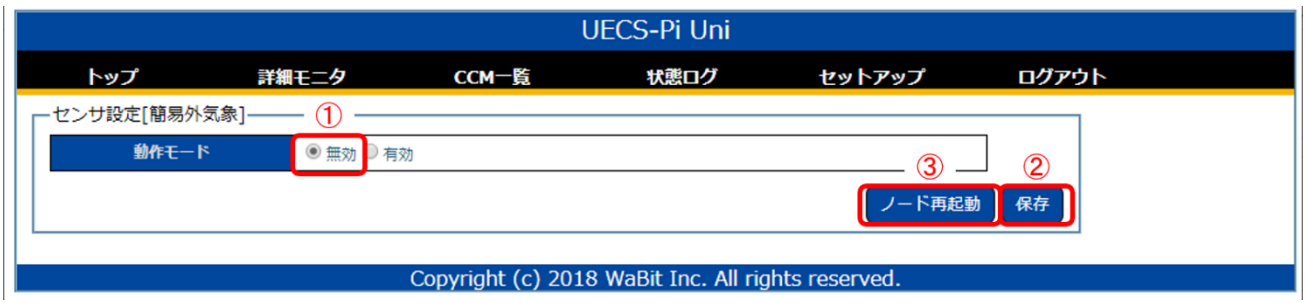
<https://www.arsprout.co.jp/archive/doc/#selfMade>

簡易外気省センサの測定値（外部気温、外部相対湿度、外部絶対湿度、外部露点、外部飽差、風向、風速、瞬間風速、雨量、外部照度、外部 UV のいずれか）の歯車アイコンをクリックし、センサ設定画面へ移動します。

The screenshot shows the UECS-Pi Uni web interface. At the top, there are navigation tabs: トップ, 詳細モニタ, CCM一覧, 状態ログ, セットアップ, and ログアウト. Below the tabs, there is a 'トップ' section with a 'ノード状態' table. The 'ノード状態' table has columns: IPアドレス, 現在時刻, 日の出, 南中, 日の入り, and 状態. The '状態' column shows '重度異常'. Below this is a 'センサー' section with a table of sensors. The table has columns: No., 名称, 現在値, 更新日時, and 設定. The '設定' column contains gear icons. A red box highlights the gear icons for rows 14 through 24, which correspond to external sensors.

No.	名称	現在値	更新日時	設定
1	内部気温	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
2	内部相対湿度	-- [%]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
3	内部絶対湿度	-- [g m-3]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
4	内部露点	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
5	内部飽差	-- [g m-3]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
6	内部土壌水分	-- [%]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
7	内部土壌温度	-- [C]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
8	内部土壌EC	-- [dS/m]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
9	内部日射	-- [kW m-2]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
10	内気象ノードファン動作	--	2019-09-04 16:09:12	⚙️
11	内部CO2	-- [ppm]	2019-09-04 16:09:12	⚙️
12	外部日射	0.001 [kW m-2]	2019-09-10 15:51:32	⚙️
13	感湿	1	2019-09-10 15:51:23	⚙️
14	外部気温	-- [C]	--	⚙️
15	外部相対湿度	-- [%]	--	⚙️
16	外部絶対湿度	-- [g m-3]	--	⚙️
17	外部露点	-- [C]	--	⚙️
18	外部飽差	-- [g m-3]	--	⚙️
19	風向	--	--	⚙️
20	風速	-- [m s-1]	--	⚙️
21	瞬間風速	-- [m s-1]	--	⚙️
22	雨量	-- [mm]	--	⚙️
23	外部照度	-- [lux]	--	⚙️
24	外部UV	-- [mW cm-2]	--	⚙️

センサ設定画面で動作モードの「無効」を選択 (①) します。保存ボタンをクリック (②) し、ノード再起動ボタンをクリック (③) します。



1.7 日の出、南中、日の入時刻の表示

[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「日の出、南中、日の入時刻の設定」を実行してください。

1.8 ノード名称の変更

[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「ノード名称の変更」を実行してください。

1.9 時刻の設定

[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「時刻の設定」を実行してください。

1.10 設定ファイルのバックアップを取得

今まで設定した項目をファイル出力してバックアップを取得します。もし、機器が故障しても設定ファイルのバックアップがあれば設定を復元することが可能です。

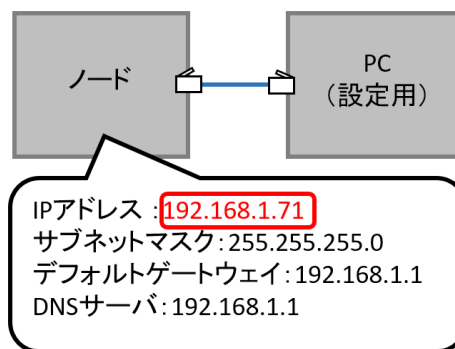
[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「設定ファイルのバックアップを取得する」を実行してください。

1.11 IP アドレスを変更する

ノードの IP アドレスを変更します。IP アドレスは以下図の通り重複しない数値を各ノードに設定してください。IP アドレス以外は固定値を設定してください。IP アドレスを変更する作業は、[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「IP アドレス変更」を参考にしてください。

※ノード 1 台だけで利用する場合は IP アドレスは 192.168.1.70 (初期値) で構いません。

ノードとPCをLANで接続し、IP設定を行う



【ネットワーク設定について】

IPアドレス: 192.168.1.XX (XXの部分は2~254の範囲で重複しない数値に設定)
サブネットマスク: 255.255.255.0 (固定)
デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.1 (固定)
DNSサーバ: 192.168.1.1 (固定)

以上で制御ノードの初期設定は完了です。

2. 制御ノード基本操作

[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「ファームウェア基本操作」を参照してください。

3. 制御ノード停止方法・起動方法

ノードを停止する場合は、**必ず OS を停止してから電源スイッチを OFF にしてください**。OS を停止せずに電源スイッチを OFF にすると故障の原因となる場合があります。

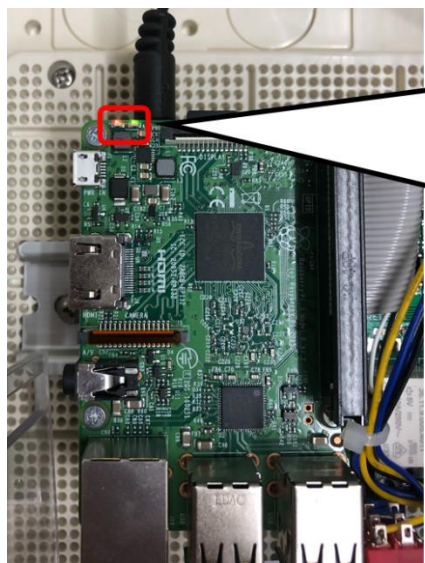
メニューのセットアップ>ノード設定をクリックし、ノード設定画面を表示します。OS 停止ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Node Settings' (ノード設定) page. At the top, there are navigation tabs: 'トップ', '詳細モニタ', 'CCM一覧', '状態ログ', and 'セ'. The main content area is titled 'ノード設定' and contains a form with the following fields:

ノード名	トマトハウス
ノード種別名(kNN)	cMC
room-region-order (priority)	1 - 1 - 1 (1)
現在時刻	<input type="checkbox"/> 変更 [2019-08-05 17:53:40] <input type="checkbox"/> 時間管理CCM(Date,Time)で補正を行う <input type="checkbox"/> 時間管理CCM(Date,Time)を送信する
管理パスワード	<input type="password"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPアドレス	<input type="radio"/> DHCP取得 <input checked="" type="radio"/> 固定 IPアドレス: 192.168.0.77 サブネットマスク: 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1 DNSサーバ: 192.168.0.1
MACアドレス	BB-27-EB-EA-73-F4
ファームウェア Ver.	20190606
ロケール	日本語
タイムゾーン	日本標準時[+09:00]
地理情報	緯度: 35, 経度: 135, 標高: 0 m
ウォッチドッグ	<input type="text"/> 秒後: 動作
オプション	<input type="checkbox"/> SSHアクセス許可
ボードモデル	3 Model B
インジケータPIN	GPIO-2 (PIN13) <input type="checkbox"/> H/L反転動作

At the bottom of the form, there are four buttons: 'OS停止' (highlighted with a red box), 'OS再起動', 'ノード再起動', and '保存'. Below the buttons is a '設定ファイル' section with a 'ファイルを選択' button and the text '選択されていません'. At the very bottom, there are 'ダウンロード' and 'アップロード' buttons.

OS 停止が完了すると、ACT ランプ（緑ランプ）が完全消灯します。（ACT ランプが 5 秒以上点滅しないことを確認してください。）



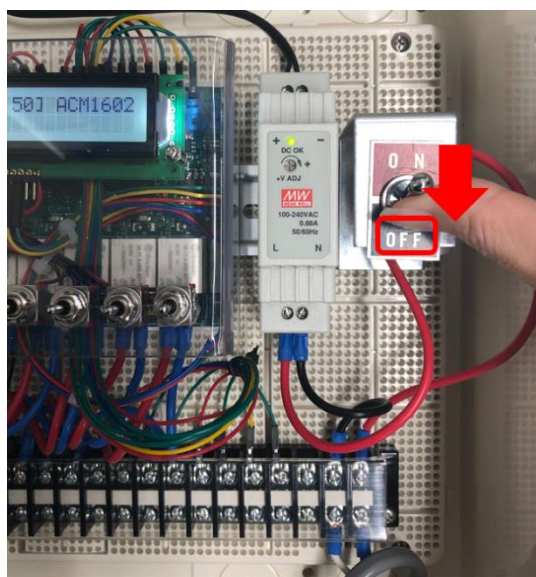
OS 起動中は ACT ランプが
緑点滅します。



OS が停止すると ACT ランプが
完全消灯します。



OS 停止を確認後、電源スイッチを OFF にしてください。（必要に応じてコンセントを抜いてください。）



電源スイッチを OFF にする

ノードを起動する場合は、コンセントを指し、電源スイッチを ON にしてください。暫くすると OS 起動ランプ（ACT ランプ）が緑点滅し使用可能になります。

4. ファームウェアアップデート

UECS-Pi ファームウェアはできるだけ最新版をご利用ください。最新ファームウェアのリリース情報はアルsprout株式会社サイト (<https://www.arsprout.co.jp/>) のトップ画面「最新のお知らせ」で確認できます。

1.12 設定ファイルのバックアップを取得

[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「設定ファイルのバックアップを取得する」を実行してください。

1.13 最新ファームウェアダウンロード

アルsprout株式会社サイトのトップ画面のアーカイブ>最新ファームウェアをクリックします。



最新ファームウェアページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。([ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) 「ファームウェアダウンロード」を実行)

1.14 ファームウェアにログイン

[ArsproutDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の以下目次を順に実行し、ファームウェアに

ログインします。

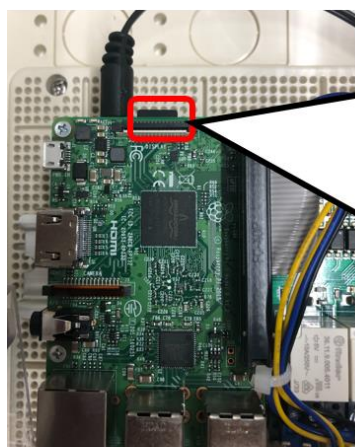
1. 「PC とノードを LAN ケーブルで接続する」
2. 「PC のネットワーク設定」
3. 「ファームウェアにログイン」

1.15 ファームウェアを停止して、ノードの電源を OFF にする

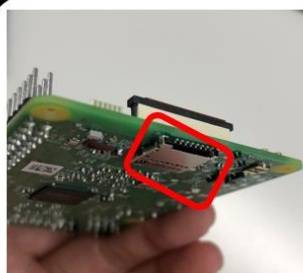
本マニュアルの「[ノード停止方法・起動方法](#)」の停止方法を参考にしてノードの電源を OFF にします。

1.16 SD カード取り出し

SD カードを制御ノードからとりだします。



RaspberryPiからSD
カードを取り出す



SDカードの差し込み
口は上記赤枠の通り。
指でさわって確認す
る。

1.17 SD カードに最新ファームウェアをインストールする

[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) 「SD カードにファームウェアを書き込む (ファームウェアインストール)」を実行してください。

1.18 SD カードを差し込みファームウェアにログイン

[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の以下目次を順に実行し、ファームウェアにログインします。

1. 「SD カードをノードへ差し込む」
2. 「電源スイッチを ON にする」
3. 「ファームウェアにログイン」

1.19 設定ファイルをアップロードして設定を復元する

[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「バックアップを使用した設定の復元」を実行してください。

※ここでアップロードするのは「[設定ファイルのバックアップを取得](#)」で取得した設定ファイルです。

以上で、ファームウェアアップデートは完了です。

5. サポートへの連絡

[ArsprounDIY キット 2 初期設定マニュアル \(UECS-Pi 編\)](#) の「サポートへの連絡」を参照してください。

6. その他

制御ノードのファームウェア (UECS_Pi Uni) について詳しく知りたい方は、「UECS-Pi Uni ユーザマニュアル」を参照してください。

アルスプラウト株式会社サイト > アーカイブ > ドキュメント > ソフトウェア設定関連

<https://www.arsprout.co.jp/archive/doc/#softwareManual>

➤ UECS Pi Uni ユーザマニュアル